

国土交通大臣認定品 認定番号 MFN-1305 F★★★★★

JAIA 4VOC基準適合

# スピンドル鋸用接着剤 SP-50

国土交通省公共建築工事標準仕様書  
機械設備工事編に準じています

保温・防音・断熱工事用スピンドル鋸を亜鉛鉄板やコンクリート面などへ施工するのに適した合成ゴム系接着剤です。初期接着力及び施工性に優れています。



合成ゴム系接着剤

溶剤形

危険物第二类引火性固体 危険等級Ⅲ

容量	包装形態	梱包単位
200g	チューブ	60

### 用途

適用箇所	屋内（折板屋根は除く）
適用下地	金属（ステンレスを除く）、コンクリート、モルタル
適用仕上げ材	スピンドル鋸

### 標準使用量

0.6g/スピンドル鋸1本

### 性質

外 観	茶色 ペースト状
主 成 分	合成ゴム
張付け可能時間	2分以内/23℃

- 掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
- 本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部/〒453-0067 名古屋市中村区宿勤町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL:03-3616-2201 名古屋支店 TEL:052-411-3511 仙台営業所 TEL:022-262-5751 広島営業所 TEL:082-231-1200 北陸出張所 TEL:076-237-7480 大垣工場 TEL:0584-89-2225  
FAX:03-3616-3711 FAX:052-411-3516 FAX:022-262-5753 FAX:082-231-7666 FAX:076-237-6478 FAX:0584-89-2090  
大阪支店 TEL:06-6386-6141 札幌営業所 TEL:011-717-5216 横浜営業所 TEL:045-242-7441 福岡営業所 TEL:092-451-6503 技術開発 TEL:0584-89-8111  
FAX:06-6386-6146 FAX:011-717-5217 FAX:045-242-8136 FAX:092-481-0621 センター FAX:0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業  
◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, L.TD.

1905Mac02

### 使用方法

#### 【下地の清掃】

接着面はよく乾燥させ、接着不良の原因となる、塗料・油・ホコリ・錆などを取り除きます。

チェック： 塗装面・ガラス面・ステンレス面には施工しないで下さい。

#### 【接着剤の塗布及び張り付け】

1. 接着剤をスピンドル鋸のプレート部分に塗布します。
2. スピンドル鋸を下地に押し付けるように張り付けます。この時、プレートの孔や四方から接着剤がはみでるようにします。

チェック： 接着剤の塗布量が多すぎると、硬化時間が遅くなりますので注意して下さい。

#### 【養生】

1. 接着剤が完全に硬化するまで（夏期：24時間、冬期：48時間以上）外力が加わらないように養生します。

チェック： 養生時間は環境により異なります。

2. 接着剤が硬化してから断熱材の施工を行います。

### 取り扱い上の注意事項

SP-50を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 接着用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 常時60℃以上となる場所への施工はしないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業場所は換気頻度を多く行って下さい。  
（施工中は窓を開け、施工後も日中は10日前後、常に窓を開ける）
- 施工場所により周辺部への溶剤臭気の拡散に注意して下さい。又、必要に応じて周辺住民へ事前に連絡して下さい。
- 引火性のある溶剤を含んでいます。使用時・取り扱い場所は「火気厳禁」及び「立入禁止」の表示を行って下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 使い残した接着剤は密封したうえで場所を定めて保管して下さい。
- 使用時は必要に応じて保護具などを着用して下さい。
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切ってください。  
（使用後は口元をきれいに拭き確実に蓋をして下さい）
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)またはカタログをご参照下さい。

#### ■警告及び注意



引火性あり 有毒性あり 火気厳禁 吸入注意

# ！ SP-50 使用上の注意事項

## SP-50による接着施工

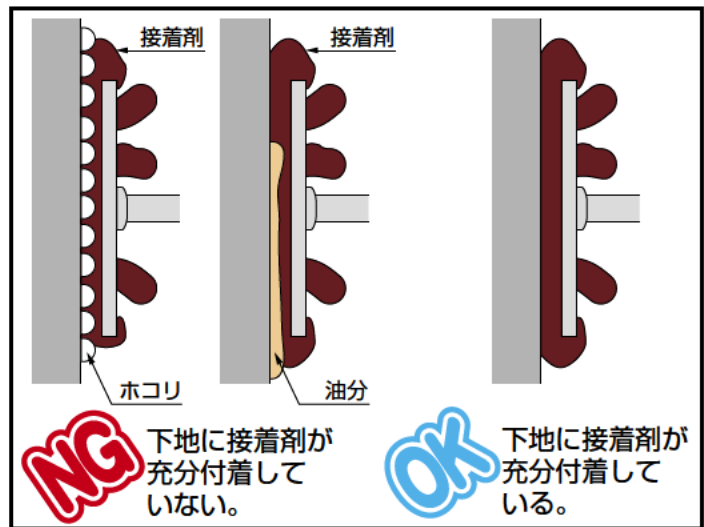
### こんな時は十分な接着力が確保できません。

#### 原因1 下地のホコリ・油分・結露状況

下地のホコリや油分、結露、含水率が高い状態などは接着剤の付着を妨げ、有効接着面積を確保できなくなり、十分な接着力が発揮できません。

#### 対応 清掃

施工前に下地表面の状況を確認し、ホコリ・油分など接着不良の原因となる物を取り除いて下さい。

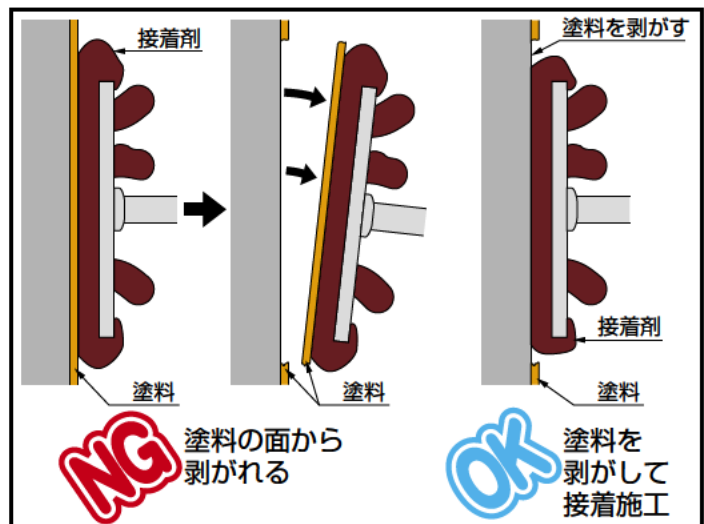


#### 原因2 下地が塗装されている

下地となる鉄板や鉄骨に塗装が施されている場合は、接着剤強度が下地への塗料の密着性に依存されるため、データ通りの接着力を得ることができません。

#### 対応 塗装を除去するか確認施工を行う

塗装を除去した後、現れた生地に接着施工を行います。やむを得ない場合は、試験施工を実施するか、担当の営業にご相談下さい。



#### 原因3 高温と多湿な環境

地下室、調理場、温泉施設などのように、施工後の環境が高温多湿な場所の場合、接着剤が軟化したり取付け金具が錆びたりし、剥離につながる可能性があります。

#### 対応 接着剤と取付け金具を選定する

エポキシ系、変成シリコーン系、変性アクリル系(下地が鉄板の場合)の接着剤を使用するか、プラファス(打ち込みアンカー)で施工することをお奨めします。

